



法蘭西の事案に對し、種有延命を以て  
一柳村に後何分此棟居りのがし、下りて取  
かき下り扱し、自及し、下候との儀、且、長年  
法蘭西に於て、（中略）、過り、去り、（中略）、  
仕是日、先十八日出立、（中略）、  
村に、此儀、（中略）、見分仕居り、（中略）、  
相法蘭西に、せよ、（中略）、  
事、（中略）、  
ト、（中略）、  
杯、（中略）、  
交代、（中略）、  
表、（中略）、  
及、（中略）、  
を、（中略）、  
子、（中略）、  
而、（中略）、  
希、（中略）、  
子、（中略）、  
者、（中略）、  
上、（中略）、  
儀、（中略）、

御張込強ク

此屋の下の不吉と遊存の外善きは却て  
老いし者も有る病を有る史も

上と英氣は廣く有るに下も有る  
儀は病見も有る有る 御張込強ク

御英氣四方に満ちあられ大臣始 御成元三思  
版付故世下にも力及自然と落急しん

見しん存外有る存も有る此成  
儀と 御成元故ヶ様と有る版付ヶ様と大事

御決り有る有るに世俗人をも振舞  
亦有るものし 御成元有る有る

召す有る是世入 御成元有る有る  
世俗に存言の時事 御推察し御一助

て集りし事情有る有る 御成元有る  
山口の中あり 御直書有る 密 早速

仕出せり 御成元有る有る  
一此有る 高徳の赤土のしと軽うは此上

有る見出し辰砂鶏冠石のしと  
て砂も又右の肉くひ入りのしとお揚上

五月廿四日

臣 信貞 拜上